

高大連携バイオ実験体験講座に 130名を超える応募者！



宇都宮大学バイオサイエンス教育研究センターでは、今年も高校生参加のバイオ実験体験講座を開催します。現在、第一線で活躍している大学の研究者と、最先端の研究成果の一端を高校生が見る・聞く・触れることで、学術と日常生活との関わりや、科学（学術）がもつ意味を理解してもらうプログラムです。

当センターでは、遺伝子関連バイオ実験に力点を置いています。「DNAを食べたことがありますか？」に始まり実際にDNAを見て、さわることから始め、蛍光タンパク質で光る大腸菌を作る、コメのDNA鑑定などを実際に体験できます。今年は高校生と

高校教員を対象にした3回の講座に合計で130名以上の応募があり大盛況です。また、特定の高校と連携した講座（SPPなど）も行っています。講座の取材を歓迎いたします。（参加者の募集は終了しています。）

実験内容や当日スケジュールの詳細は、当センターのHPにも掲載しています。
 （随時UP予定）<http://c-bio.mine.utsunomiya-u.ac.jp/pressrelease.html>



【イベント予定】

*スーパーサイエンスハイスクール（科学技術振興機構）

イベント名	開催日	参加予定人数	
佐野日大附属高校SSH*	7月22-23日（金-土曜）	17名	DNAを見る・触る「ブロッコリーからのDNA抽出」 光る大腸菌作成「蛍光タンパク質遺伝子を大腸菌で作らせる」 コメのDNA鑑定「もってきた米粒の品種鑑定」
栃木女子高校SPP**	7月28-29日（木-金曜）	約40名	
ひらめき☆ときめき***	8月1-2日（月-火曜）	約40名	
バイテック体験講座（1）	8月4-5日（木-金曜）	48名	
バイテック体験講座（2）	8月9-10日（火-水曜）	46名	
鹿沼東高SPP**	7月30日（土曜）	約20名	メダカのDNA鑑定 ～メダカの遺伝的性別を調べる～
鹿沼東高SPP**	7月31日（日曜）	約20名	マイクロアレイを用いた遺伝子多型の解析
松山高校SPP**	8月12-13日（金-土曜）	約20名	メダカの性別判定とアルビノメダカの遺伝子解析

**サイエンスパートナーシッププロジェクト（科学技術振興機構）

***日本学術振興会との共催（ひらめき☆ときめきサイエンス
 ～ようこそ大学の研究室へ～KAKENHI）

【写真の解説】

大腸菌に蛍光タンパク質遺伝子を導入することで様々な蛍光を発する大腸菌を作成できます。



【本件に関する問い合わせ先】

宇都宮大学バイオサイエンス教育研究センター
 広報担当 尾形 美代（おがた みよ）

Tel: 028-649-5527 Fax: 028-649-8651
 E-mail: c-bio@cc.utsunomiya-u.ac.jp